

2019 年度 COCN 連携活動「食の未来システム」活動報告骨子

活動の Vision

- ◆ 日本の施設型第一次産業を革新・拡大、国際的地位向上、海外展開(輸出拡大)に寄与する。
- ◆ IT ファーム(ICT を活用した植物工場、養殖場等)の事業性向上と海外展開の推進。施設・設備の導入、及び推奨・認証を利用したビジネス創出。

実施事項 (産業への寄与)

- ◆ 施設型第一次産業の高度化を起点とし、高品質で安全な食材・食品を供給、関連するサービスを高付加価値化するスマートフードチェーン(SFC)の構築をサポートする。
- ◆ SFC 関連事項(高機能設備、検査機器、栽培システム、生産野菜、種苗など)を推奨する事業により、設備機器や製品の顧客価値を高め、特に海外での事業拡大に寄与し、SFC の高度化を推進する。
- ◆ 国内外の連携体制を通じて海外展開を支援し、海外事業の実現・拡大を目指す。アジアの政府機関、民間企業等との交流を深め、また展示会への参加等を通じた認知度の向上、市場動向把握を行い、課題解決の新たな取り組みを、輸出事業展開に繋げる。

活動の実現に向けた提言

1. 食バリューチェーン全体(生産～流通～販売)の衛生管理基準の策定・提案に向けた、各省庁(農水省、厚労省、国交省、内閣府)連携での支援体制を確立する。
2. 「農業参入企業への栽培技術指導」と「現地栽培指導」ができる多様な人材の組織化を推進する。
3. 植物工場用(養液栽培用)種苗を民間種苗会社が開発するため、国の管理下の研究機関(試験場、大学等)が所有する設備を利用できる体制にする。
4. 餌の供給から海外マーケティングを含めた養殖魚輸出戦略構築のため、各省庁(農水省、経産省、国交省、内閣府)連携での支援体制を確立する。
5. 新規高機能養殖に対する、投資・財務負担軽減への支援として、初号案件に対する補助金を拡大する。